

Vol.2 香料会社の機能



香料も香料会社も現代社会に欠かせない！

《モノと香り》

私たちの生活は、数え切れない程多くの『モノ』に囲まれて暮らしています。ですが、その『モノ』の魅力、印象、そして評価は《香り》次第で大きく変わります。

例えば、キャンディ。元の素材は、すべて砂糖と水あめですが、これにストロベリーやレモンの香料を加えることで、初めてストロベリーキャンディやレモンキャンディといった「個性」と「リアリティ」が生まれます。

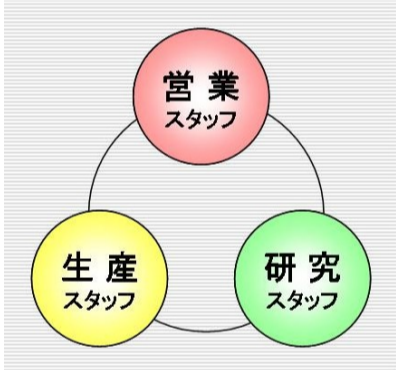
また、家庭でお菓子を作るときにはバニラエッセンスを使いますが、これもバニラ(香料)の甘い香りが、お菓子の魅力をさらに引き出してくれるからです！

ケーキやクッキーにあの甘い香りが無かったら・・・想像してみてください。



《香料はオーダーメイド》

では、そうした商品の開発過程で、香料会社はどのような役割もっているのでしょうか？実は《香り》の開発・製造はほとんどがわれわれ香料会社の手に乗ねられているのです。



ほとんどの場合、香料はお菓子や食品、飲料といった最終商品を製造しているお客様の企業から依頼された香料会社がオーダーメイドで開発しています。

香料会社には、お客様の要望を的確にキャッチし、新たな提案を行う営業スタッフ、香りのクリエイターである研究スタッフ、香りを正確かつ万全の品質で作出す生産スタッフがいます。専門知識と高いスキルをもった3つのスタッフが調和しながらお客様の商品作りをサポートしています。

また、膨大な数の香料原料を探求し、調達し、保管・管理するには、長年の経験と知識がきわめて重要です。

このように香料会社は、ありとあらゆるジャンルの商品を開発するお手伝いをしているのです。

よりよい香りを創り出すための技術や専門知識はもちろん、歴史と経験に裏付けられたノウハウをもった香料会社は、最終商品に高い付加価値を与えるために欠かせない存在なのです。

➡ Vol.3 は《小川香料について》です

Vol.3 の送付を希望されない場合は、当メールへの返信にてその旨ご連絡ください。



➡ Vol.1 クイズ回答 : 明治天皇

✉ 小川香料人事部では会社紹介メールに対する感想をお待ちしています。当メールへの返信にてお寄せください。

※バックナンバーはこちらを参照ください → [Vol.1](#)

Question!

☕ 1520年頃、ある王国に侵攻したスペイン軍は、そこでカカオ豆の粉末・バニラ豆の粉末・ハチミツなどで作られた「チョコラトル」という飲み物をはじめて知ります。それはこれまでのヨーロッパには無かった新しい食品で、カカオとバニラの組合せは「チョコレート」として現在に受け継がれています。ではチョコレートの起源となった飲み物を飲んでいた『ある王国』とはどこでしょう？
答えは Vol.3 で！

